

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 01 08	中期総合計画主要施策番号		3-02	担当課	部・課	衛生部 医療政策課	
事業名		ドクターヘリ運航事業					内線	2619	
							E-mail	iryo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・県が要請した救命救急センターが運営するドクターヘリの運航に対して補助することにより、救急患者の救命率等の向上、広域救急患者搬送体制の向上を図る。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・県土が広く山間地の多い長野県において救急患者の救命率等の向上のため、ドクターヘリによる広域救急患者搬送の役割は大きい。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・ドクターヘリの運航事業を実施するためには大きな費用負担がある。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・ドクターヘリの運航に対して補助することにより、広域救急患者搬送体制を確保する必要がある。							
	事業内容	・ドクターヘリの運営費に対して補助する。 ・補助対象経費 運営費(運航経費、搭乗医師・看護師確保経費等) 補助率10/10【国】1/2、【県】1/2)							
実施期間	H17 ~ H21		根拠法令等	救急医療対策事業実施要綱					
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	ドクターヘリの運航に対して補助し、全県域をカバーする広域救急患者搬送体制を充実する。		出動件数の増加と、各地区の要請に適切に対応できる体制を確保する。			出動件数は351件と増加した。地域別の出動状況は東信53%、南信22%、中信22%、北信10%、県外1%という割合であった。(19年度の東信地区59%)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	169,704	169,829	169,828	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	168,973	169,828		実施方法	補助	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	84,487	84,914	84,914	歳出節制内訳等	補助金:169,828 (単位: 千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.30	0.30	0.30			
	概算人件費 (C)		千円	2,142	2,145	2,145			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	171,115	171,973	171,973				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	出動件数		件	330	351	360			
	脳疾患(疑い)患者の搬送件数		件	73	83	90			
	心疾患(疑い)患者の搬送件数		件	23	19	20			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・全県域をカバーする広域救急患者搬送体制の確保に、県が積極的に関与する必要がある。 ・出動件数の約5割を東信地区が占めていることから、他の地区における利用促進を図る必要がある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	課題の総括		・出動件数に地域的な偏りがあることから、利用件数の少ない地区における利用促進を図り、全県域において各地区の要請に適切に対応できるよう努める必要がある。						